

第2回秋田市地域公共交通協議会バス路線再生分科会議事要旨

開催の日時	平成21年6月9日(火)午後3時～午後4時30分
開催の場所	秋田市職員研修棟2階 第1研修室
委員の定数	19名
出席委員	18名(内代理出席2名)
議事	(1)バス路線廃止の意向の申出について (2)河辺・雄和地域における代替交通の運行について (3)秋田市マイタウン・バス北部線の乗車券について
会長	設置規約第3条により、会長代理に坂田委員を指名する。 - 議事開始 -
委員	議事(1)の路線廃止の意向の申出のうち、 の仁井田日赤線、県立大学線、五城目線(坂本経由)について説明 質疑なし
会長	この路線について、廃止にあたってはやむを得ないものとし、地域住民の生活に必要な乗合旅客運送の観点から利便性を阻害するおそれがないと認めてよいか。
委員一同	承認
委員	議事(1)の路線廃止の意向の申出のうち、 の御所野ニュータウン線、城東経由大学病院線について説明
委員	御所野ニュータウン線は現在黒字で乗車密度も高い。運行本数が少ないことから次回の補助制度の対象外となるため廃止することのだが、黒字なのであれば補助に関係なく運行してもよいのではないか。また、廃止することによって他にカバーできる路線があるのか、別の路線と組み合わせ再編する考え方があるのか伺いたい。
委員	代替する路線があるので、そちらを充実させ利便性向上を図りたいと考えている。

委 員	乗車密度が廃止等の基準になるとのことだが、通院・高齢化等を考えるとこの路線は必要なのではないか。 社内での乗車密度の基準はあるものか。
委 員	補助要件から、運行回数と乗車密度の両方をクリアしなければならないことを考慮している。
委 員	理解はできるが、運行本数を増やすことによって、利用者も増えるのではないか。
会 長	運行が病院からの片道のみなので、代替は十分可能なのかも含めて説明願いたい。
委 員	本数を増やして利用者が増えればよいが、この路線の利用者のほとんどは秋田駅まで乗っていく。よって他の路線で代替は可能である。代替可能であり、途中の乗降がほとんどないものを存続し、この先赤字に転じた場合、当社の負担が増える。高速バスの黒字分でカバーしてきたが、他事業者の参入により目減りしているため危機感を持っている。事業として廃止するという苦渋の決断だということをご理解願いたい。
委 員	代替は可能とのことだが、例えば城東経由大学病院線で例を具体的に示して欲しい。
委 員	広面碓のバス停が空白になってしまうが、200m ほど歩くと他の路線のバス停があるので、十分カバーできる。
会 長	この路線について、廃止にあたってはやむを得ないものとし、地域住民の生活に必要な乗合旅客運送の観点から利便性を阻害するおそれがないと認めてよいか。
委 員 一 同	承認
委 員	議事(1)の路線廃止の意向の申出のうち、 の岩見三内線、雄和線、北循環、南循環、 の仁井田四ツ小屋線について説明
会 長	これについては議事(2)と併せて協議する。
事 務 局	議事(2)河辺・雄和地域における代替交通の運行について説明

委員	初乗り運賃が違うのはなぜか。同じ秋田市内であるのに地域によって異なるのは不公平感があるが、いかがか。
事務局	河辺地域は10円刻み、雄和地域は50円刻みで運賃を設定にした関係で初乗り運賃も160円、150円となった。時代の流れで更に値上げすることがあれば逆転する可能性もある。
委員	仮に今後他の地域で100円刻みにしたいということになれば、市としてはどうするのか。
会長	実際初乗り区間で乗降するケースは少なく、また、それぞれの研究会で協議した結果でもあるので、利用者にも理解してもらいたいと考える。
委員	理解はできるが、現行のユージュルの運賃が100円で、なぜ雄和地域だけなのかという声が旧秋田市、河辺地域からあった。これを考えると初乗り運賃は同額にすべきだと思う。
委員	同じ市内であって、たとえ10円といえども地域による格差があるのはおかしい。市民全員が納得するような料金体系にすべきだ。
委員	料金については基本的に差別しているとは考えていない。地域によって特色があってよいと思う。いろいろな意見があるとは思いますが、それぞれの地域の代表者が研究会において議論した結果なので、尊重したいと考える。
委員	それぞれの研究会で納得したものであればよいが、各々の情報は伝わっているのか。
事務局	説明済みである。その上での結果である。
委員	雄和地域の方が初乗り運賃が10円安いですが、ある程度の距離を乗ると、同じ距離でも河辺より高くなる逆転現象が起こる。その点も研究会で説明した上で了承されている。
会長	議事(2)の代替交通の各項目について、分科会の調整がとれたものとして承認してよいか。
委員一同	承認
事務局	これを踏まえて、議案(1)の の路線および の仁井田四ツ小屋線の路

線について、廃止にあたってはやむを得ないものとし、地域住民の生活に必要な乗合旅客運送の観点から利便性を阻害するおそれがないと認めてよいか。

委員一同 承認

事務局 議事(3)秋田市マイタウン・バス北部線の乗車券について説明

委員 P T Aとしてこのような配慮はありがたいので、私からもお願いしたい。

会長 乗車券の発行について承認してよいか。

委員一同 承認

- 議事終了 -

- 分科会終了 -